

「子供が学ぶ」 My 授業づくり シート

～拡散と収束のある学び 須田小学校 立川 徹也

◆「子供が学ぶ姿」

子供の「よく分からない」を「はっきりさせたい」に高まることで、子供は、友達の考えを付け加えたり、新たな考えを思い付いたりすることで、考えをより深めていきます。

国語学習編 物語を読む

◆教師の役割～日常的な4つの役割

次の4つのことを中心に、授業づくりに取り組んでいます。

- ① 授業で考えること（学習課題）のしかけ
- ② 子供から様々な考えを引き出すしかけ
- ③ 様々な考えを整理するしかけ
- ④ 自分の学びをまとめるしかけ

学習課題のしかけ ?を感じる

◆子供が、学習のめあてをもつ

- ① **ズレ**をはっきりさせて?をもたせる
「**今までの学習**」や「**友達の考え**」等とズレを示す
- ② **解決への見通し**を子供の考えから作る
子供の考える予想（理由）の中にある、根拠（人物の行動や会話）を揺さぶる
※複数の人物の行動や会話を比べること

拡散のしかけ

◆子供から、様々な考えを引き出す ペア対話

- ① 音読を通じて、意見と理由をはっきりさせ考えを**伝え合う場**を作る
考えを音声化して伝える
- ② 子供の考えを、音読の表現で工夫させ、気付かなかった考えに目を向けさせる
置き換えた言葉をつなぐ
- ③ 子供の意見と理由を丁寧に聴き、子供が考え置き換えた言葉を他の子供につなぐ

収束のしかけ

◆子供の考えを、整理する視点を示す 短い言葉に置き換えて整理する

- ① 子供が見付けたバラバラな考えを、短い言葉に置き換えて整理する
友達の考えを比べて考える
- ② 子供の意見の違い（解釈の違い）についての考えを訊く

まとめのしかけ 型でまとめる

◆子供が、学習課題についてまとめる

- ① 学習の書き出しや、キーワードを示して、学習の振り返りをする

「ニャーゴ」を通訳！（何て言ってるの）

■今日の学習課題のしかけ

◎最後のねこの「ニャーゴ」を通訳しよう（何て言っているの？）（※②）

- ① 中心人物（ねこ）の対人物（子ねずみ）に対する鳴き声「ニャーゴ」の音読を比較する。
→なぜ、怖いはずのねこが最後に小さな声に？
- ② 子供の理由（子ねずみの行動や会話でねこが～に変わった等）をみんなで確かめよう

■今日の拡散のしかけ

- ① 自分の考え（「ニャーゴ」の通訳）と理由を吹き出しに書き、ペアで次のことを紹介し合う
ア）キーセンテンスを中心に音読し合う
イ）意見（ニャーゴの通訳）
ウ）理由（ねこと子ねずみの記述）
- ③ 子供の意見から、文章中にない置き換えた言葉を、他の子供につなぐ（どう思うか問う）
【恥ずかしい】【ごめん】【うれしい】【ありがとう】等

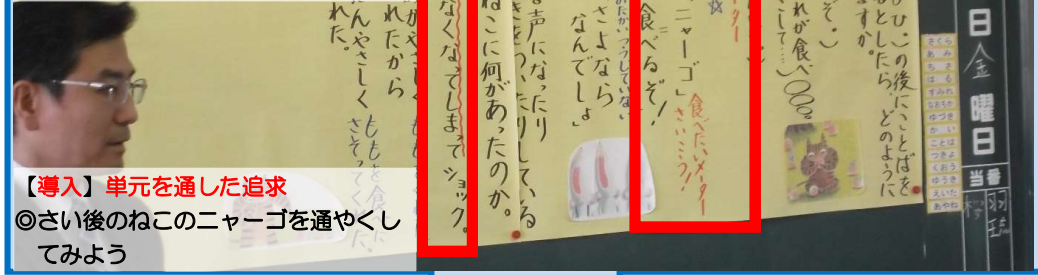
■今日の収束のしかけ

- ① 吹き出し中の言葉を、子ねずみの気持ち（信用する、仲間と思う等）と、ねこの気持ち（恥ずかしい、うれしい等）に分けて短い言葉で整理する
- ② 自分の気付かなかったこと（ねこの気持ち）について訊く（考えに取り入れる、並記する）

■今日のまとめのしかけ

- ① ねこの気持ちになって、「ニャーゴ」を通訳しよう！
「ねこは、最初は～の気持ちだったけど、…」

【導入】中心人物の心の変化のきっかけに焦点化した問いで◎につなぐ
「食べるぞ」が「食べられない」に変わったね。ねこに何が？



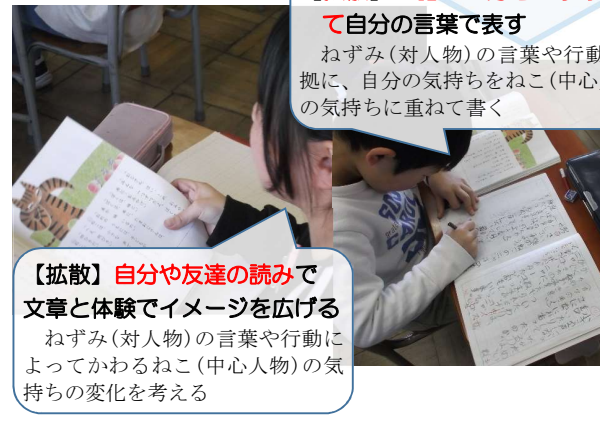
【導入】単元を通じた追求

◎さい後のねこのニャーゴを通やくしてみよう

【拡散】お話と自分をこすりつけて自分の言葉で表す

ねずみ(対人物)の言葉や行動を根拠に、自分の気持ちをねこ(中心人物)の気持ちに重ねて書く

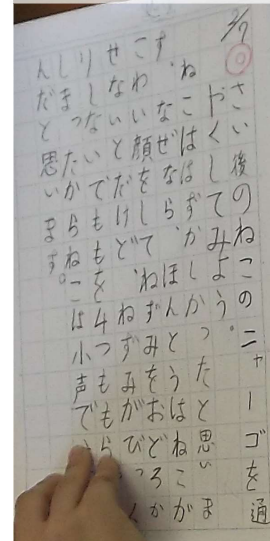
【拡散】子供の考えの違いを認める
友達に自分の考えを伝え、友達の考えを聴く(子供同士の考えを「通やく」して整理する机間指導)



【拡散】自分や友達の読みで文章と体験でイメージを広げる

ねずみ(対人物)の言葉や行動によってかわるねこ(中心人物)の気持ちの変化を考える

子供の考えを広げるノート



【収束】学習課題について、ふりかえる
◎最後のねこの「ニャーゴ」を通訳しよう

【収束】中心人物(ねこ)の視点でねこは、何って言っているんだらう？
（優しいねずみ）（食べたかった？）
※子供の感じ方の違いを取り上げる

